

令和7年磐田市「二十歳の集い」第4回実行委員会 記録

日 時：令和6年11月16日（土）18：10～19：25

場 所：Zoom形式

参加者：実行委員 18名 自治デザイン課 2名

1 LINEの事前登録制について

- ・11月初旬にオープンチャットで案内したとおり、LINEの事前登録制と当日の受付での登録確認を実施する。
- ・様々な方法での情報発信を心掛けているが、1人でも多くの対象者に情報を届けることや対象者が簡単に情報を得られることを目的に事前登録制を実施している。
- ・当日の受付での確認についても、プログラム等をLINEで電子配付し、スマホ1つで気軽に楽しむことができる式典にしたいという思いから実施している。
- ・当日にスムーズな受付をするため、参加者全員に登録をしてほしい。自治デザイン課から周知依頼があった場合は、同級生への周知にご協力をお願いしたい。

2 当日の役割分担について

(1)式典当日の役割分担について（事務局説明）

→【資料1、2、3】のとおり説明。

- ・男女、大学生、専門学生、働いている人など多様な人が参加する式典であるため、運営側についても多様な人が活躍することで、いろいろな人にとって励みになる式典になったらいいと考えている。
- ・シナリオの素案や決意の辞の例をもとに各役割について紹介。

(2)役割分担決定に関する今後の流れについて（事務局説明）

→【資料4】のとおり説明。

- ・中学校ごと1つの役割を割り振る。（割り振り決定後に、各校で担当者を決める）
- ・男女比率に偏りが出ないように調整の相談をする可能性がある。
- ・決意の辞から担当校を決めていく。

(3)グループトーク「多様な人が活躍できる決意の辞にするために」

→機材不良のため、グループ分けをせずに全体で意見交換をする形に変更。

考えた意見は、Zoomのダイレクトメッセージを用いて事務局に送信する。

【資料5】をもとに進行

①決意の辞に対するネガティブな感情を話してみよう

- ・文章を考えるのが面倒。
- ・人前で話すのは得意ではないので緊張する。
- ・自分ではあまり立派なことが言えない気がする。
- ・話すのはいいいけど文章を考える時間がない。
- ・知らない人もいる中で自分のことを話したくない気持ちがある。

- ・大勢の前で発表するのは少し恥ずかしい。
- ・自分は緊張などで貧血になるので倒れるのではないかと心配。
- ・文章を考える時間が大変。
- ・噛んだら「あ、ミスした」と全員から思われそう。
- ・どんなことを話せばいいのか難しいとってしまう。
- ・大勢の前で発表する機会はなかなかないので、緊張、不安がすごそう。
- ・個人的な話を全体の前でするのは緊張する。
- ・他の人に比べてしょぼいと思われてしまわないか・・・。
- ・4人発表が続くと飽きてしまいそう。(知人等が続く場合は別)
- ・自分の発言に対してみんなが好感を持ってくれるわけではないので、少し心配。

②決意の辞に対するポジティブな感情を考えてみましょう。

- ・やり遂げた後は自信につながる。
- ・自分を振り返る(見つめなおす、自分を整理する)いいきっかけかも。
- ・応援してくれる人がいるかもしれない。
- ・みんなを勇気づけたり、やる気を起こしたりするきっかけになるかもしれない。
- ・一生に一度しか経験(貴重な体験)できない。
- ・話の種になる。
- ・1000人中4人しかできないという特別感と言い切った後の達成感。
- ・実行委員にしかできない貴重な体験ができる。
- ・みんなに決意を知ってもらえるいい機会になる。
- ・普段伝えにくい感謝を伝えることができ、自分と向き合うこともできると思う。
- ・もしかしたら同じ境遇の人に出会えるかもしれない。
- ・大人数の前で話す経験としては良いのではないかと思います。
- ・将来の仕事において繋がりを作るきっかけ、アピールになる。
- ・実感が持てていいと思う。
- ・自分が発表した場合に終わってから、褒められた時に嬉しい。
- ・大勢の人前で決意することで、これからの行動するための覚悟にもなる。

③緊張する決意の辞を発表し終えて、約1,400人の方から拍手されている状況を想像してみてください。どう思いましたか

- ・達成感と自信につながると思われる。
- ・頑張って考えてよかったなと思えそう。
- ・自己肯定感が高まる。
- ・記憶が飛んでそう。
- ・やってよかったなと思えると思う。
- ・やり遂げた安心感と自信がつきそう。
- ・ほっとする。
- ・難しいことへのハードルが下がる。
- ・磐田で有名になっちゃう。
- ・やり遂げた達成感とみんなに聞いてもらえてよかったという安堵を感じる。
- ・一生記憶に残る。
- ・人前で話すことのハードルが下がる。

- ④どんな方法があれば、多様な人が活躍できる決意の辞にできるでしょうか。
- ・ 推薦したい人がいる場合はその人に依頼してみる。
 - ・ 立候補制がいいと思う(やる気ある人、いつか人前に立つ仕事がしたい人)。
 - ・ 決意の辞の経験者にやってみて得られたことやその経験が役に立ったこと、どうだったかを聞いてみる。
 - ・ 決意の辞だけは学校を決めなくてもいいと思う。
 - ・ とりあえず各中学校のグループで募集をかけてみる。決意の辞は実行委員以外でもいいことは皆知らないと思う。
 - ・ 磐田市の公式ラインやホームページを活用して公募を試みる。
 - ・ 立候補制がいいと思いますが、こちらから働いている人に対しても声をかけてみたりしてみたりしてはどうかと思う。
 - ・ 立候補を募った後、いろいろな立場の人を選考する。
 - ・ 各中学校から実行委員かに関わらずに代表者を出して、後で全体で作為的に選定する方法が現実的だとは思う。目標とする多様性と、実際に立候補する人間は当然乖離すると思うので、結局そこが心配。

3 事務連絡

(1)第5回の実行委員会について

12月に式典当日の中学校毎の座席や経路の事前レクチャーする場として実施予定。
後日日程調整するので協力をお願いしたい。

(2)その他の進捗等について

- ・ 集合写真撮影のスケジュール決めでは希望調査、抽選に協力いただき感謝している。
- ・ 合唱曲決定にかかるアンケートを送るので協力をお願いしたい。
- ・ スライドショーの写真について、募集依頼をかけるので周知及び実行委員としても収集に協力をお願いしたい。
- ・ 著名人メッセージとして静岡いわた PR 大使にメッセージの協力依頼をしている。

☆次回の実行委員会の日時 12月末開催予定(後日、日程調整を行う。)

令和7年 磐田市「二十歳の集い」第4回実行委員会 次第

と き：令和6年11月16日（土曜）18：00～19：30
ところ：Zoom

1 LINEの事前登録制について（10分）

2 当日の役割分担について（80分）

- (1)式典当日の役割分担について【資料1, 2, 3】
- (2)役割分担決定に関する今後の流れについて【資料4】
- (3)グループトーク「多様な人が活躍できる決意の辞にするために」【資料5】
- (4)グループトークで出た意見の共有
- (5)まとめ

3 事務連絡

- (1)第5回の実行委員会について



資料① 当日の役割分担について

◎概要

- ・男女、大学生、専門学生、働いている人など参加する多様な人がこれからの励みになる式典」となるように、いろいろな人に役割についてもらいたいと思います。
- ・中学校ごと1つの役割を割り振ります。
- ・役割一覧は以下のとおりです。また、前回実施のシナリオを基にしたシナリオ素案は別紙のとおりですので、台詞のイメージはそちらを確認してください。
- ・全ての役割で暗記する必要はありません。開式、閉式、決意の辞の3つは専用の式辞用紙を自治デザイン課で用意します。

◎役割一覧

No.	役割名	人数	内容
1	影アナ	1人	式典前後で、参加者に向けた連絡事項のアナウンスを行う
2	司会	2人 (男女1名ずつ)	2人で司会を行う 場面によってはアドリブも可能
3	開式の辞	1人	式の始まりのあいさつ
4	お祝いメッセージ	1人	著名人メッセージの前振りや読み上げ
5	決意の辞	4人 (男女2名ずつ)	1人あたり2~3分程度 感謝の想いや将来の決意を話す
6	合唱	1人	合唱、スライドショーの前振り
7	閉式の辞	1人	式の終わりのあいさつ

※具体的な担当者が決まった際に、男女の偏りが顕著になってしまった場合は、市から相談させていただきます。

資料③

決意の辞

・600字～800字

・磐田での思い出、感謝をベースに過去2年間では以下のような内容がありました。

例) 人生のターニングポイント(浪人、震災、コロナ)

将来の夢(その夢を持った経緯、今夢に向かって頑張っていること)

大学やバイトで学んでいること、それをどう将来に生かしたいか

偉人の名言

令和6年1月開催時の一例

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開いていただき、誠にありがとうございます。草地市長をはじめ多数の方々にお祝いや激励の言葉を頂き、20歳という節目に喜びを感じる共に、責任の大きさに身が引き締まる思いです。

私は20年の生活で、多くの経験をしてきました。その中で、大学受験が印象に残っています。受験勉強は、今までで最も勉強に向き合った時期で、テスト当日の緊張感とはんでもないものでした。そんな時期を乗り越えられたのは、周囲の人々の支えがあったからこそだと思っています。学校で夜遅くまで勉強し帰宅しても暖かく迎えてくれた両親、日々切磋琢磨し高めあった友人、疑問に丁寧に答えてくれる先生方、彼らがいてくれたからこそ大学に通い勉学に励むことができていると思っています。

そしてその大学で、私は今、法学を専攻しています。法律は生活の基盤を作り上げる大切な要素です。この学びを生かして、将来は人々に貢献したいと思っています。私を支えてくれた人たちがいたように、今度は私が支える側となり、助けを求めている人の手助けをしていこうと考えています。どのような形で学びを生かし、貢献していく方法を探している最中ではありますが、大学卒業までに見識を広めこの夢を叶え、最善の選択を見つけ選んでいきます。

改めて、今の自分があるのは多くの支えがあったからこそです。支えてくれた人々には感謝の気持ちで一杯です。まだまだ手探りに進路を選択している未熟者ですがご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

資料④ 役割分担の決定に関する今後の流れについて

◎概要

- ・中学校ごと1つの役割を割り振ります。
- ・「今回の実行委員参加者」＝「当日役割をする人」ではありません。
割り振りの決定後、各中学校の実行委員の中で話し合っ、当日担当者を決めてください。
- ・「決意の辞⇒その他の役割」の順番で決めます。
- ・所定の人数以上に希望があった場合は抽選を行う予定です。
- ・その他の役割については、男女の比率に偏りがでないように調整の相談をする可能性があります。
- ・決意の辞を作成する際は、自治デザイン課の市川が随時サポートします。
- ・その他の役割は基本的に読み原稿は自治デザイン課で作成します。事前のアレンジは可能です。アドリブが可能な部分は当日アドリブ対応も可能です。

☆決定までのスケジュール

時期	決意の辞	その他の役割
11/16	第4回実行委員会で説明	
～11/30	担当者 決定	
12/2～6		学校の振り分け 決定
12/9～13	初案 提出	担当者 決定
12/16～20	2案 提出	
12/24	完成	
～1/10	各自で読む練習	
1/11	前日リハーサル(役割がある人+希望者)	
1/12	当日	

資料⑤

多様な人が活躍できる決意の辞にするために・・・

1 決意の辞に対するネガティブな感情を話してみましょう(5分)

2 決意の辞に対するポジティブな感情を考えてみましょう(5分)

3 緊張する決意の辞を発表し終えて、約 1,400 人の方から拍手をされている状況を想像してみてください。どう思いましたか。(5分)

ここまでで、少しでも決意の辞に対してポジティブな感情が生まれてくれれば幸いです。

さて、本題です。

令和6年1月に開催した二十歳の集いでは、決意の辞の発表者4名が「全員男性、大学生」という状況でした。でも、式典には、男性、女性、大学生、専門学生、既に社会に出て頑張っている人・・・いろいろな人が参加しています。いろいろな立場で頑張っている人の決意の辞があれば、多くの人が励みになるのではないかと考えています。

4 どんな方法があれば、多様な人が活躍できる決意の辞にできるでしょうか?(30分)

条件:①11月18日から30日までの2週間で、担当者を決めます。

②担当者は実行委員でなくても構いません。

※ここで得た意見は来年度以降の二十歳の集いで決意の辞を行うときも参考にします!